小熊野川準用河川改修事業【再評価】

参考資料

別紙１

【事業目的】
平成30年7月豪雨による浸水被害を解消し、地域の安全・安心を確保する

【事業概要】
河 川 名：準用河川小熊野川
河川延長：4.13km
流域面積：3.23km2
整備目標：概ね10年に1度の頻度で発生する降雨(54.6㎜/h)
事業延長：1,860m

【浸水被害】
災害年月：平成30年7月
浸水戸数：83戸（床上15戸、床下68戸）
浸水面積：約6ha

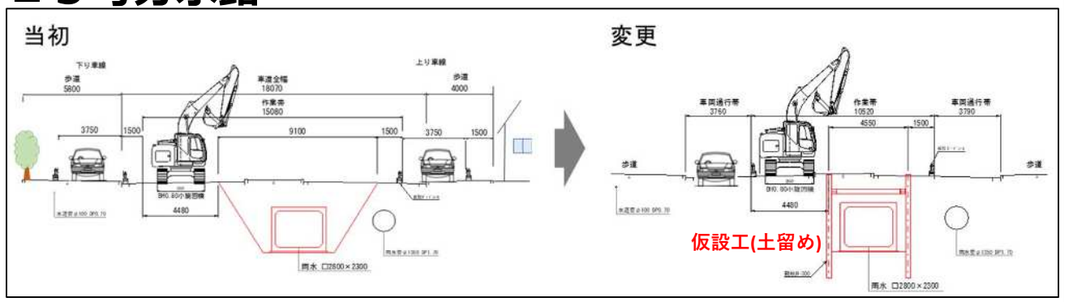
■当初計画(令和3年度)と今回（令和6年度）との比較

	当初計画（令和3年度）	今回（令和6年度）	増減
事業費	9億円	21億円	12億円　増額
３号分水路	2億円	13億円	11億円　増額
調節池	5億円	4億円	1億円　減額
河道拡幅・掘削	2億円	4億円	2億円　増額
事業期間	令和４年度～令和８年度（5年間）	令和４年度～令和22年度（19年間）	１４年間　延伸

※費用便益比(B/C)＝1.13（前回評価時：1.94）

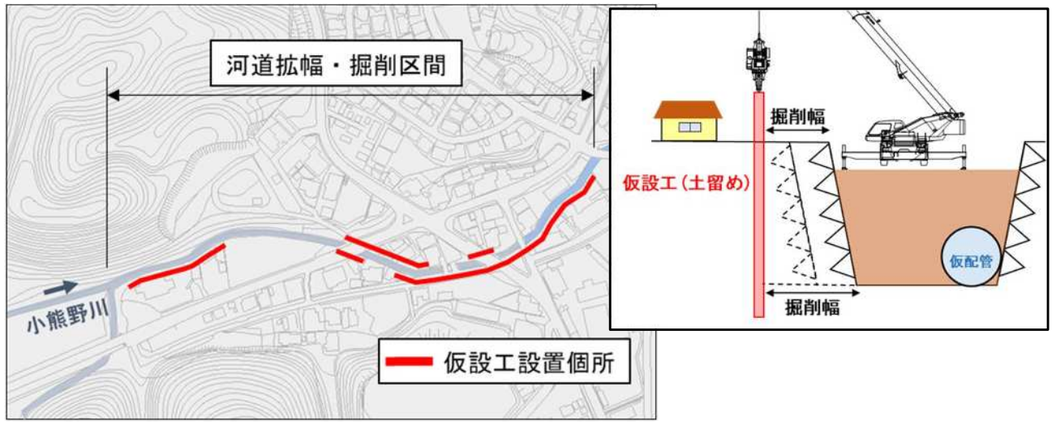
変更内容

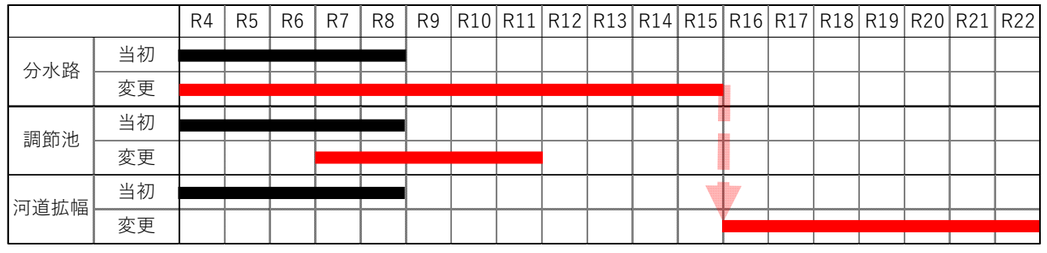
■３号分水路



・計画策定時は過去の実績（２号分水路の事業費）を参考に算出
・詳細な調査・設計及び警察協議を実施した結果、通行スペースの確保及び安全性の観点から、仮設工を増工
・工事範囲は硬質な岩盤層（600＜N値）のため、仮設工が高額
・労務単価や資材価格の高騰

■河道拡幅・掘削



・家屋が隣接していることから、仮設工を増工
・硬質な岩盤層（375＜N値≦600）が想定されるため、仮設工が高額
・労務単価や資材価格の高騰

■事業スケジュール（仮設工増工による延伸）